

(提案者名)

(審査委員氏名)

評価項目	評価内容	評価	換算値	換算後評価点	上限	
事業実施に関する評価	事業実施基本方針・体制	・本事業の目的を踏まえた基本方針か	>業務の目的の理解度 >体育館の利用を踏まえた空調性能の考え方 >技術とノウハウを活用した短期間導入	5 4 3 2 1	×5	25
		・確実な実施体制か	>総括管理者の経験（類似施設・空調設備工事の実績） >現場代理人・技術者の配置計画 >施工管理体制（安全・品質・工程） >トラブル発生時の対応フロー >発注者との協議体制（定例会議の頻度など）			
		・バックアップ体制が適切か	>緊急時の対応力（休日対応、トラブル対応） >施工後の保守・点検体制の提示 >企業としての支援体制（技術部門・安全部門の支援）			
	設計・施工スケジュールの実施可能性	・短期間での導入に対応した計画か	>工程表が詳細かつ具体的に示されているか >機器納期を踏まえた工程になっているか >代替案（納期遅延時）の提示があるか	5 4 3 2 1	×5	25
		・資材調達・機器納期の見通し	>納期確保の根拠や調達計画の現実性を評価できるか			
		・学校行事及び体育館利用者への配慮があるか	>行事や利用を避ける工事調整案があるか >騒音・粉じん・安全確保の対策が具体的か			
	地域経済への貢献	・工期管理の工夫があるか	>進捗管理方法（週会議、日報、工程管理ツールなど）が明確か >発注者との協議体制（定例会議の頻度）が明確か	5 4 3 2 1	×3	15
		・市内事業者の参加	>市内企業が元請・下請としてどの程度参画			
		・市内事業者の活用	>地元企業の強みを活かした役割設定			
		・地域経済への波及効果	>維持管理段階での地元企業の継続的関与			
整備内容に関する評価	空調設備等の性能・機能	・快適性の確保	>場所による温度差の抑制性能 >温度コントロールの精度 >結露対策の有無	5 4 3 2 1	×8	40
		・操作性の向上	>タッチパネル等の操作の分かりやすさ >職員室からの一括操作が可能か >学校教育活動以外の利用者を考慮した操作が可能か >スケジュールタイマー等の運転管理機能			
		・故障時の影響範囲の最小化	>故障箇所の自動診断機能 >モジュール化された構造（部分交換が可能か）			
		・トッランナー機器の採用等	>トッランナー機器の採用等			
	学校現場の特性に配慮した整備計画	・室内機・室外機の設置位置の妥当性	>生徒の動線と干渉しないか >メンテナンス時のアクセス性 >排気・吸気が周囲環境に悪影響を与えないか >既存建物への負荷（重量・振動）が適切か	5 4 3 2 1	×9	45
		・防球・防音・防振・排熱対策	>防球ネット・ガードの設置方法の妥当性 >振動が建物構造に影響しない設計か >排熱が周囲の教室や通路に影響しないか			
		・受電設備等の計画・選定の妥当性	>既存設備を考慮した計画であるか			
		・空調気流の制御・競合適合性	>バドミントン・卓球などの競技に影響しない気流設計			
	維持管理に関する配慮	・静音性への配慮	>式典・演奏会などの静音要求への適合 >室外機の騒音が近隣に与える影響 >振動による建物共鳴の抑制	5 4 3 2 1	×6	30
		・保守性の向上	>フィルター交換・清掃の容易性 >メンテナンスマニュアルの充実度			
		・ライフサイクルコストの低減	>体育館の特性を踏まえた機器能力の算定 >年間電気料金の試算（根拠の明確さ）			
	環境負荷軽減への配慮	・緊急時対応の明確化	>故障時の連絡体制（窓口・受付時間） >避難所利用時等の緊急対応（停電復旧）	5 4 3 2 1	×5	25
		・省エネ性	>自動制御（CO ₂ 濃度・外気温・人感センサー）の有無			
	災害時の避難所としての特徴	・長寿命化（更新頻度の低減）	>機器寿命の長さ >部品交換の容易性	5 4 3 2 1	×5	25
		・廃棄物削減・リサイクル配慮	>廃棄物削減・リサイクル配慮			
施工時の安全対策・学校運営への配慮	・迅速な運転開始	>運転開始手順の簡易さ(誰でも操作できるか) >起動時の負荷が小さく、発電機で運転可能か	5 4 3 2 1	×5	25	
	・避難所としての快適性確保	>換気等感染症対策が可能か >大空間での温度ムラの少なさ				
	・生徒の安全確保	>工事エリアの明確な区画（仮囲い・バリケード） >生徒の動線と工事動線の完全分離				
その他に関する評価	・騒音・振動対策	>騒音・振動を抑える施工方法の採用 >授業・部活動への影響を最小化する工事時間帯の設定	5 4 3 2 1	×5	25	
	・停電・断水時の配慮	>停電を伴う作業の有無とその時間帯の調整 >停電・断水が必要な場合の事前説明と代替策				
価格点	・創意工夫 参加意欲	・他項目にない独自の提案 ・本事業への積極性・誠実性	5 4 3 2 1	×2	10	
	・他項目にない独自の提案	・他項目にない独自の提案 ・本事業への積極性・誠実性	5 4 3 2 1	×2	10	
価格点	価格点	(最も低い提案価格) ÷ (当該応募者の提案価格) × 25 ※小数点第1位を四捨五入			25	
合計					300	

評価点	5	4	3	2	1
評価基準	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている